



文楽の魅力小学生に解説

～自国や郷土の伝統文化の普及啓発・継承を図る取り組み～

河内長野市教育委員会では、平成14年から継続して開催しているラブリーホールでの「文楽」公演を中心に関連した古典事業を展開していますが、市民の郷土愛を育み、アイデンティティを確立する1つの、そして有効な方策として、平成24年に「古典の日に関する法律」が制定・施行されたことを機に、より一層の「文化的な伝統（古典）」の普及啓発及び継承を図っています。

今回は市立石仏小学校で、著名な文楽研究家の故吉永孝雄氏最後の弟子である山下孝夫（やました たかお）氏を招いて、小学6年生の児童に文楽の魅力进行解説します。当日は、ラブリーホールでの「文楽」公演（26日開催予定）の演目でもある安珍・清姫の伝説に基づく『日高川入相花王』（ひだかがわいりあいざくら）の一場面を学校の先生方も参加し、文楽の魅力をわかりやすく伝えます。

記

●小学校における文楽解説

日 時：平成27年9月24日（木）第5校時 13：50～14：35

場 所：河内長野市立石仏小学校 1F ラーニングルーム

※第28回古典芸能鑑賞会「文楽」公演

日 時：平成27年9月26日（土）

昼公演＝ 時間：13：30開演（13：00開場）

演目：「団子売（だんごうり）」、「心中天網島（しんじゅうてんのあみじま）」

夜公演＝ 時間：17：30開演（17：00開場）

演目「絵本太功記（えほんたいこうき）」、「日高川入相花王（ひだかがわいりあいざくら）」

場 所：市立文化会館「ラブリーホール」大ホール

料 金：一般当日券3,800円（前売券3,300円）、昼夜通し券5,500円、

学生券1,500円で販売しています。

問い合わせ 河内長野市教育委員会 文化・スポーツ振興課（☎0721-53-1111）